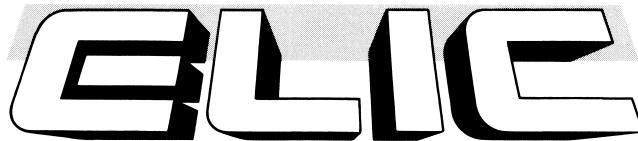


電機労働者懇談会

発行者 E L I C 編集委員会 谷口利男
142-0043 東京都品川区二葉2-20-8
TEL (03) 6421-5323 染野ビル2F
郵便振替00130-3-358078 E L I C 編集委員会

Electric Labor and Industry Correspondence



2020年10月10日

No 394

1部100円

家庭の「生活空間」を守ろう



電機労働者懇談会（電機懇）第33回総会は、新型コロナ対応で全国の16カ所と接続したオンラインで、9月19日(土)13時15分～16時50分、全労連会館「2Fホール」で開催しました。

来賓挨拶は、電機・情報ユニオン米田徳治委員長から頂き2Pに掲載。全労連とJCP中央委員会からのメッセージは3Pに掲載しました。

総会は、日立・東芝・三菱電機・パナソニック・NEC・富士通・沖電気・アンリツ・サンケン・ルネサス・岩通などの11企業・26職場と4団体から39名（昨年54名）が出席しました。

総会はオンラインも含めて13名の討論で総会議案が深められました。争議面では、NECDSの不当解雇事件闘争と三菱電機の派遣切り闘争、NECイノベータでの不当解雇事件闘争、日立での労働者を10時間の監禁で退職届を提出させた事件に関する報告が行われました。

日立ではコロナ対応策、NECでは中期計画と

テレワークについて、東芝では人減らしリストラ対応、沖電気では、同一労働同一賃金の実現を、サンケンは新たなリストラ、ルネサスでは賃金の大幅な格差についての取り組みを強調しました。

最後の報告は、ユニオン森書記長より共同行動での更なる発展を実現しようと訴えました。

総会では、21春闘での取り組みを強化、賃金処遇制度政策提言を深める取り組み、コロナ対応で苦しむ労働者を救う為に、ユニオンとの協同闘争をより一層強化し諸要求の実現をめざして奮闘する決意を固めました。

今月号の紙面

- ①電機懇第33回総会を開催
- ②主催者挨拶とユニオン挨拶
- ③全労連とJCPのメッセージ
- ④議案書報告、会計報告と監査
- ⑤全体討論「発言要旨」(1)
- ⑥全体討論「発言要旨」(2)
- ⑦全体討論「発言要旨」(3)
- ⑧討論のまとめ、集積回路